

令和7年11月7日

保護者の皆様

旭川市立青雲小学校長 岡田 亮二

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要について

晩秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、今年度4月17日（木）に実施されました全国学力・学習状況調査につきまして、先月公表された旭川市の分析結果を踏まえ、本校6年生の分析結果の概要をお知らせします。つきましては、各ご家庭におかれましても、本調査結果を今後の学習の充実に役立てていただきますようお願いいたします。

【国 語】

＜正答率が高かった設問＞

- 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。
- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えた適切な言葉を記述する。

＜正答率が低かった設問＞

- △目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。
- △目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付け選択する。

【算 数】

＜正答率が高かった設問＞

- 示された資料から、必要な情報を選び、食べた野菜の重さを求める式と答えを書く。
- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、目的を果たすために必要な数量を見いだし選択する。

＜正答率が低かった設問＞

- △基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を式や言葉を用いて記述する。
- △分数の加法について共通する単位分数を見いだし、加数と被加数が共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述する。

【理 科】

＜正答率が高かった設問＞

- 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、条件を制御するために必要な数量を記述する。
- 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、【結果】や【問題に対するまとめ】を基に、他の条件での結果を予想し、考えられる時間と予想した理由を選択する。

＜正答率が低かった設問＞

- △身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識を基に3つの身近な金属の性質を正しく選択する。
- △乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識を基に、正しいつなぎ方を選択する。

学校では、課題を踏まえた学習指導の改善に向け、次のような視点を一層重視してまいります。

国語

- ◇相手から聞きたいことを引き出すために、質問したい内容を分類したり関係付けたりして、インタビューの進め方などを考える学習を充実します。
- ◇話し合った記録を関係付けたり、図を用いて分かりやすくまとめたりする学習を充実します。
- ◇必要な情報が何かを考え、文章と図表などを結び付ける学習を充実します。

算数

- ◇目的に応じて適切なグラフを選択して、データの特徴や傾向を捉える学習を充実します。
- ◇基本図形の面積の求め方を基に、図形の面積の求め方を記述する学習を充実します。
- ◇共通する単位分数を見いだし、異分母分数の加法・減法の計算を身に付ける学習を充実します。

理科

- ◇金属には、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることを知識として身に付く学習を充実します。
- ◇複数の乾電池のつなぎ方によって、回路に流れる電流の大きさが変化することに関する知識が身に付く学習を充実します。

【学習状況調査（質問紙調査）】

学習状況調査では、生活習慣や学習環境、児童の意識などについて児童に質問しています。本校児童が高い傾向を示した質問項目と改善を要すると思われる質問項目を整理しました。

<高い傾向を示した質問項目>

- いじめは、どんな理由があってもいけない。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることが多い。
- （ICT活用）インターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができる。
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- 理科の勉強が好き。

<改善を要すると思われる質問項目>

- △新聞を読んでいる。
- △地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりする経験がある。（習い事は除く）
- △学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、読書をする習慣がある。
- △将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思う。

～子どもたちの現状と今後に向けて～

- ◎いじめのない安心・安全な学校生活を自ら作ろうとしている。
- ◎学級の友だちと話し合う活動を通して、自分の考えを深めようとしている。
- ◎友だちの考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
- ◎「人が困っているときは、進んで助けたい」「人の役立つ人間になりたい」ところから、自分のことだけでなく他者を思いやる気持ちをもっている。
- ◎ICTを課題解決の際に積極的に活用する習慣が身に付いている。

学校では、本調査結果を踏まえ、体験的な学習や言語活動を進める中で、学習課題に意欲的に取り組む児童や理科への興味・関心をさらに高められる児童を育てていきたいと考えております。さらに「自分にはよいところがある」と自己有用感に関する質問に肯定的な回答も多く見られたことから、今後も個のよさを引き出す指導を充実してまいります。学校と家庭との連携を一層密にしながら、子どもたちの成長を後押しできるよう、引き続きご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査の結果分析から、旭川市の児童生徒に課題が見られる内容に関わる学習プリントが掲載されています。ダウンロードして、ぜひご家庭でもご活用ください。

【旭川市の令和7年度
全国学力・学習状況調査結果報告書】

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/218/251/257/d056900.html>（「旭川市のホームページから閲覧可能です」）

ここからご覧になれます！

